

令和2年度（2020年度） 商工会等事業変更概要書（2回目以降）

泉佐野商工会議所

（単位：円）

1. 事業変更一覧

変更区分	事業区分	事業名	変更の理由	補助金額
変更	経営相談支援事業	-	コロナ禍において、新たな時代に向けての事業計画や金融支援などの支援件数が増加したため	275,420
変更	地域活性化事業	商工フェアIN泉佐野	人を集める手法である「商工フェア」では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための国から示された3つの密を避けることが困難な状況であり、人を集めないで実施できる手法への変更。一店逸品紹介ガイドを作成し逸品の紹介・PRを行うことで、コロナに対する実施上の課題を克服でき、販路拡大の機会を創出できるため。	▲ 1,843,250
追加	地域活性化事業	働き方改革からwithコロナ時代への労務管理の対策事業（コロナパッケージ⑤）	コロナ終息後もいつ襲ってくるかわからない感染症を視野に入れた働き方への変革が求められており、その課題の抽出と解決に向けての対応が急務となってきたため。	1,616,000
変更	地域活性化事業	自社商品売込み商談会（堺商工会議所幹事）（コロナパッケージ⑦）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、堺商工会議所（幹事）の自社商品売込み商談会が、個別事前予約型商談会による開催に変更があったため。	▲ 22,920
変更	地域活性化事業	ものづくり企業商談会（堺商工会議所幹事）（コロナパッケージ⑦）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、堺商工会議所（幹事）のものづくり企業商談会が、個別事前予約型商談会による開催に変更があったため。	▲ 25,250

※変更区分には、「追加」、「廃止」、「変更」、「未実施」のいずれかを選択してください。

2. 経費支出概要書（経費内訳）

泉佐野商工会議所

(1) 経営相談支援事業

(単位：円)

区 分	変更前			変更後			差額	
	事業所数/回数	算定基準	補助金額	事業所数/回数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
事業所カルテ・サービス提案	200	5,000,000		200	5,000,000		0	
支援機関等へのつなぎ	4	40,000		4	40,000		0	
金融支援（紹介型）	5	150,000		5	150,000		0	
金融支援（経営指導型）	90	3,600,000		97	3,880,000		280,000	
マル経融資等の返済条件緩和支援	0	0		0	0		0	
資金繰り計画作成支援	55	1,100,000		55	1,100,000		0	
記帳支援	50	1,250,000		50	1,250,000		0	
労務支援	50	1,000,000		50	1,000,000		0	
人材育成計画作成支援	0	0		0	0		0	
マーケティング力向上支援	5	100,000		5	100,000		0	
販路開拓支援	60	1,200,000		60	1,200,000		0	
事業計画作成支援	25	1,250,000		25	1,250,000		0	
創業支援	10	200,000		10	200,000		0	
事業継続計画(BCP)作成支援	10	200,000		10	200,000		0	
コスト削減計画作成支援	10	200,000		10	200,000		0	
財務分析支援	50	500,000		50	500,000		0	
5S支援	0	0		0	0		0	
IT化支援	5	100,000		5	100,000		0	
債権保全計画作成支援	0	0		0	0		0	
事業承継支援	10	200,000		10	200,000		0	
災害時対応支援	51	255,000	51	255,000	0			
フォローアップ支援	40	200,000	40	200,000	0			
結果報告	175	1,750,000	175	1,750,000	0			
小 計	—	18,295,000	18,292,695	—	18,575,000	18,568,115	280,000	275,420

(2) 専門相談支援事業

事業名	変更前			変更後			差額	
	支援日数	算定基準	補助金額	支援日数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
金融相談専門員	0	0		0	0		0	
法律	10	240,000		10	240,000		0	
税務	12	288,000		12	288,000		0	
労務	4	96,000		4	96,000		0	
知財	4	96,000		4	96,000		0	
小 計	—	720,000	720,000	—	720,000	720,000	0	0

※支援日数×24,000円。ただし、記帳支援のために税理士を活用する場合、事業所数×26,000円

(3) 地域活性化事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	8,959,761	別紙事業調書【変更後】のとおり	8,684,341		▲ 275,420

(4) 商工会等支援事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	0	別紙事業調書【変更後】のとおり	0		0

(5) 合計

	変更前		変更後		差額	
		補助金額		補助金額		補助金額
申請合計		27,972,456		27,972,456		0

事業名		商工フェアIN泉佐野	新規/継続	継続
想定する実施期間		H 29 年度～ R2 年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>泉佐野地域では、タオルや農産物等、優れた特産品を生み出しているが、地域の産品をPRできる場が少なく、知名度が不足している感がある。商業分野に限らず工業分野においても認知度向上に苦慮する製造業者を支援し販路拡大に繋げる必要がある。そこで本事業では、PRの場として物産展を開催し、製品の試用や体験により、よりインパクトのあるPRを可能とし、出展を通じて、出展スキルを身に付けることから、他の展示会への参加意欲を高め、販路拡大の機会を広めることができる。また同時イベントとして「ものづくり体験教室」を開催。「ものづくり」に対する関心を高め、次世代の事業者育成のきっかけとなる場を提供する。また地元グルメの披露を行い、相互にコミュニケーションが取れる環境をつくる。「泉佐野」のブランド力を広く内外にアピールし販路拡大に繋げていくと共に、地域に「商工のお祭り」を根づかせることで、参加される方々の様々な出会いにより、異業種の垣根を越えた関係をつくり、地域をさらに盛り上げたいという気運を高め、地域活性化に繋げる。</p>		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野市・田尻町の商工業者35社の参加を想定		
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	<p>小規模事業者の発信力の弱さにより地域において認知度が低くビジネスチャンス逃している現状があり、今までに無かった町おこしの事業が切望されていた。来場者は第一回が1500名・第二回が5000名・第三回が7000名の来場を頂き、年々市民からの期待が高まっている。事業所にとっての強みと弱みを洗い出し、強みを活かし弱みを克服するヒントを得ることができる。</p>		
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値	<p>・令和1年9月21日(土)・22日(日)AM11:00～PM4:00 ・会場 レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター前広場他(泉の森広場・生涯学習センター・歴史館いずみさの) ・実施内容 泉佐野・田尻地域の事業者が、地域住民に対して「自社商品や製品の紹介」や「生の声を聞く」場として活用。 ・来場者数・・・(産業展示コーナー&販売コーナー) 7000人 ①「商品・地場産業展示コーナー」・・・23社 ②「商品の販売・飲食コーナー」・・・15社 ③「地域の団体等のコーナー」・・・8団体(泉佐野警察署・泉佐野消防署・商工会議所青年部・女性会等) ④「勾玉教室」・・・参加者116名 ⑤「泉州タオル染色・体験教室」・・・参加者72名 ⑥「ステージショー」・・・「あわ踊り」「バントワリング」「キャラクターショー」「歌謡ショー」「泉佐野警察署の防犯教室」他</p>		
	反省点	<p>・参加者店舗への来場者を平準化するためにも、回遊性の改善を図るために、ブース配置の改善を図る必要がある。</p>		

事業名		商工フェアIN泉佐野		新規/継続	継続	
具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	<input checked="" type="radio"/> 人材育成型	<p>【物産展】(2日間・35社予定)</p> <p>①開催日:2020年11月7日(土)・8日(日)</p> <p>②開催場所:レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター前広場他(泉の森広場・生涯学習センター・歴史館いずみさの)</p> <p>③内容:泉佐野市内の商工業者一同に集めた物産展を実施し、自社商品を展示PR・対面販売することで認知度を上げ、販路開拓を支援する。</p> <p>④集客イベント 未定:泉佐野市の地域にまつわる歴史や特産品に関わる内容で集客イベントを実施する。</p> <p>⑤支援企業数 35社</p> <p>⑥来場者数 7,000人(2日間)</p> <p>【地場産業に触れる教室】 ・泉州タオルの染色体験を行い、自分だけのマイタオルを作る。</p> <p>【ものづくり教室】 ・大阪府技能士会連合会との連携により開催。</p>				
	人材交流型					
	<input checked="" type="radio"/> 販路開拓型					
	ハンズオン型					
	独自提案型					
事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)		<input checked="" type="radio"/> (a)府施策連携 <input type="checkbox"/> (b)広域連携 <input checked="" type="radio"/> (c)市町村連携 <input checked="" type="radio"/> (d)相談事業相乗効果 (a)府施策連携 労働5番 大阪府施策「産業祭・物産展・ものづくり教室」により、技能士連合会との連携により「ものづくり教室」等の開催。 (c)市町村連携 市役所・町役場との連携を通じて、案内周知を図る。市・町報版(会議所ニュース)を通じて、幅広く周知する。 (d)相談事業相乗効果 参加企業の個別の課題解決に対して、販路支援、金融支援等にてカルテ化に繋ぎ、相談事業相談効果を図る。				
事業の目標	支援対象企業数		設定根拠及び募集方法⇒	ホームページや市民版(会議所ニュース・3万5千部)、新聞折り込み(泉佐野市と田尻町)を活用し、それぞれ広くPRする。また役所との連携により情報提供を徹底する。市・町(窓口・広報)より広く同事業をPR。また、幅広い年齢層に参加してもらえるよう、民間のイベント情報サイトなどでも事前周知を行う。		
	支援対象企業の変化		商業・サービス業では、一般消費者の生の声をきくことができ、今後の品揃えや商品開発等に繋げることができ、建設・工業関係では認知度のアップにより長期的観点からの販路拡大や経営力向上に繋がる。また「ものづくり」への関心を高め、次世代の人材の育成効果を期待できる。			
			指標	自社製品のPRに繋がった企業の割合	数値目標	80%
	その他目標値		目標値の内容⇒	来場者数7000名。その対象を90人×35社=3,150人		
		3150 名				

事業名		商工フェアIN泉佐野						新規/継続	継続	
算定基準により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	⇒	サービス単価		支援企業数		係数		標準事業費	
			50,500 円 ×	35	×	1.00	=	1,767,500 円		
			50,500 円 ×	3,150	×	0.01	=	1,590,750 円		
			円 ×		×		=	円		
		(小計)							3,358,250 円	
		※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)							円	
		計							3,358,250 円	
	独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)									
	算出額		①市町村等補助		円	交付市町村等				
			②受益者負担		570,000 円	負担金の積算		①出店料(多目的室)10,000×24社 ②出展料(泉の広場)30,000×11社		
<input type="checkbox"/>			(a)府施策連携	<input type="checkbox"/>	(b)広域連携	<input type="checkbox"/>	(c)市町村連携	<input type="checkbox"/>	(d)相談事業相乗効果	
標準事業費			補助率		(①市町村等+②受益者負担)					
1,767,500 円 × 0.50 =			883,750 円		(570,000 円)					
1,590,750 円 × 1.00 =		1,590,750 円		(円)						
				2,474,500						
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)		代	商工会・会議所名	配分額		役割(配分の考え方)				
				円						
				円						
				円						
				円						

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

事業名		商工フェアIN泉佐野		新規/継続	継続
想定する実施期間		H 29 年度～	年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>泉佐野地域では、タオルや農産物等、優れた特産品を生み出しているが、地域の産品をPRできる場が少なく、知名度が不足している感がある。商業分野に限らず工業分野においても認知度向上に苦慮する製造業者を支援し販路拡大に繋げる必要がある。新型コロナウイルス感染症の拡大により、人を集める手法から人を集めないで実施する手法へ変更する必要がある、「商工フェア」という販路開拓の手法から「一店逸品紹介ガイド」を作成する手法へ変更する。これにより実施上のコロナへの対応が可能となり、同ガイドにより逸品の紹介・PRを行うことで、「事業者の思い」を事業に繋げていきたい。現状のコロナ禍においては、新しい生活様式へと変わろうとしており、それに対応する事業経営においても変化を余儀なくされている。Withコロナ時代を生き抜くためには、多くの「不(不安・不満・不便)」が伴いますが、そこにビジネスチャンスがあり、新しい生活様式や消費動向の変化を捉え、「顧客満足度」をアップさせることが、地域の活性化に繋がる。</p>			
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野・田尻地域の事業所で、 withコロナ時代に対応した商品・サービスの提供の取組をしている事業所			
	事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等)	<p>小規模事業者の発信力の弱さにより地域において認知度が低くビジネスチャンスを逃している現状があり、事業所にとっての強みと弱みを洗い出し、強みを活かし弱みを克服するヒントを得ることができる。withコロナ時代に対応した逸品(商品・サービス)を地域に浸透させることで、新しい時代を生き抜くチャンスとしたいという事業所のニーズが巡回等で把握。</p>			
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値	<p>・令和1年9月21日(土)・22日(日)AM11:00~PM4:00 ・会場 レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター前広場他(泉の森広場・生涯学習センター・歴史館いずみさの) ・実施内容 泉佐野・田尻地域の事業者が、地域住民に対して「自社商品や製品の紹介」や「生の声を聞く」場として活用。 ・来場者数・・・(産業展示コーナー&販売コーナー) 7000人 ①「商品・地場産業展示コーナー」・・・23社 ②「商品の販売・飲食コーナー」・・・15社 ③「地域の団体等のコーナー」・・・8団体(泉佐野警察署・泉佐野消防署・商工会議所青年部・女性会等) ④「勾玉教室」・・・参加者116名 ⑤「泉州タオル染色・体験教室」・・・参加者72名 ⑥「ステージショー」・・・「あわ踊り」「バントフリング」「キャラクターショー」 「歌謡ショー」「泉佐野警察署の防犯教室」他</p>			
	反省点	・参加者店舗への来場者を平準化するためにも、回遊性の改善を図るために、ブース配置の改善を図る必要がある。			
具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつどこで何をどのようにするのかを明確に)	○ 人材育成型	①逸品商品・サービスの紹介ガイドの作成・配布 泉佐野・田尻地域のwithコロナ時代を背景とした逸品(商品・サービス)についての募集を行い、紹介ガイドを作成し、役所関係・公共機関等を通じて配布PRを行う。			
	人材交流型	日程 9月より募集活動を開始(市町村と連携) 完成品の配布先 役所関係・公共機関・掲載事業所・一般市民等			
	○ 販路開拓型	紹介ガイド 3000部 完成・配布 1月又は2月 掲載事業所の採択 泉佐野市・田尻町・商工会議所で構成する実行委員会で決定			
	ハンズオン型	②次年度に開催の「商工まつり」にて、ブース出展による現物商品のPR			
	独自提案型	③HPでのPR ■掲載内容・・・事業所の基本情報・withコロナ時代に対応した逸品(商品・サービス)等			
事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)		<input type="checkbox"/> (a)府施策連携	<input type="checkbox"/> (b)広域連携	<input checked="" type="checkbox"/> (c)市町村連携	<input type="checkbox"/> (d)相談事業相乗効果
		<p>(c)市町村連携 市役所・町役場との連携を通じて、案内周知を図る。市・町報版(会議所ニュース)を通じて、幅広く周知する。 (d)相談事業相乗効果 参加企業の個別の課題解決に対して、販路支援、金融支援等にてカルテ化に繋ぎ、相談事業相談効果を図る。</p>			

事業名		商工フェアIN泉佐野				新規/継続	継続			
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒ 50 社	過去の逸品事業等、同様の事業の実績から設定。 募集方法は、会議所ニュース及びDM等での案内、行政の窓口の広報ツール配架により周知を行う。また経営指導員の巡回により案内。							
	支援対象企業の変化	withコロナ時代において、自社の逸品が地域で広まり顧客との新たなコミュニケーションが生まれることで、更なるニーズの把握ができ、また他業種のwithコロナマーケットへの様々な取り組みを知ることができ、今後の変化を検討する機会となり、商品開発力が高まる。								
	指標	新たな商品開発や品揃えについてのヒントを考えるきっかけとなったと感じた割合			数値目標	70%				
	その他目標値	目標値の内容⇒ 社								
算定基準により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	サービス単価		支援企業数		係数		標準事業費		
		⇒ 50,500 円 ×		50	×	0.50	=	1,262,500	円	
		50,500 円 ×		0	×	0.01	=	0	円	
		円 ×		×		=	0	円		
	(小計)							1,262,500	円	
	※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)							0	円	
	計							1,262,500	円	
	独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)									
	算出額	①市町村等補助		円	交付市町村等					
		②受益者負担		20,000	円	負担金の積算		商工会議所非会員企業 @2,000円×10社		
0		(a)府施策連携	0	(b)広域連携	○	(c)市町村連携	○	(d)相談事業相乗効果		
標準事業費			補助率			(①市町村等+②受益者負担)				
1,262,500 円 ×			0.50	=	631,250	円	(20,000 円)			
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額		役割(配分の考え方)					
			円							
			円							
			円							
			円							
			円							

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

事業名		働き方改革からwithコロナ時代への労務管理の対策事業		新規/継続	新規	
想定する実施期間		R	2	年度～	年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナの影響から、先行きが見えない緊急事態の中、事業経営を取り巻く環境は大きな岐路に立たされている。感染拡大が働き方に影響を及ぼす中、コロナ終息後もいつ襲ってくるかわからない感染症を視野に入れた働き方への変革が求められており、事業と働き方のバランスを考えた新たな事業モデルの構築が求められている。また社員・お客様・関係者の全てを守るために3密防止に向けた「テレワーク」もポイントとなっており、業務効率を高め、また災害時に事業継続しやすくなる効果が期待できる。しかしながらwithコロナ時代の労務管理をすすめる上で、問題点が山積していることから、解決への糸口を探る。				
	支援する対象 (業種・事業所数等)	・新型コロナウイルスの影響で、すっかり働き方の概念が変わってしまったことに、労務管理についての不安を抱いている泉佐野市・田尻町の事業者 ・関空が直近にあることから空港関連の事業者等				
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	現在の大きく変わろうとしている流れの中にこそ、新しい時代を生き抜くチャンスが潜んでいると感じており、そのヒントを模索している企業ニーズがある。テレワークについては、実際に体験することで、様々な課題が見えてくるが、まずはその課題の抽出にはじまり、その対応についての理解を深める必要がある。				
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値					
	反省点					
具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	○	人材育成型	●第一回「テレワーク導入・体験セミナー」 日 程 令和2年10月14日(水) PM1:00～3:00 場 所 泉佐野商工会議所			
		人材交流型	スケジュール PM1:00「セミナー」(90分) PM2:30「質疑応答」(30分) PM3:00 終了			
		販路開拓型	内 容 「テレワーク導入・体験セミナー」&「質疑応答」 ・テレワークの導入が企業にとって急務な理由や導入のメリット・デメリット、導入に向けてのステップと心構え、導入効果、事例等、テレワーク導入を円滑にはかるために、知っておくべきポイント等について説明・紹介。また「質疑応答」の時間を設け事業者の個別課題に対応する。			
		ハンズオン型	講 師 NTTの担当者より 参加人数 40名			
		独自提案型	●第二回「withコロナ時代の労務管理の問題点と働き方改革の対策セミナー」&「個別労働相談」(大阪府労働環境課労働環境課労働環境推進グループと連携) 日 程 令和2年11月11日(水) 場 所 泉佐野商工会議所 スケジュール PM1:00「セミナー」(90分) PM2:30「個別労働相談会」(30分) PM3:00 終了 内 容 ・コロナショックで何がか変わったか？ ・withコロナ時代の働き方改革 ・就労形態の変更に伴う規定等(就業規則・在宅勤務規定・賃金規則等) ・テレワーク、時差勤務時の労務管理 ・安全配慮に関して 等 講 師 社会保険労務士等 参加人数 40名			

事業名		働き方改革からwithコロナ時代への労務管理の対策事業		新規/継続	新規
事業手法 (該当する場合は ○印と下欄に その根拠)		○ (a)府施策連携	(b)広域連携	○ (c)市町村連携	(d)相談事業相乗効果
		(a)府施策連携 (労働関係)NO. 11 コロナパッケージ⑤ 大阪府の労働環境課労働環境推進グループと連携しながら実施する。 「個別労働相談会」の開催。 (c)市町村連携 ホームページや市民版(会議所ニュース)を活用し、広くPRする。また役所との連携により情報提供を徹底する。市・町(窓口・広報)により広く同事業をPR。			
事業 の 目 標	支援対象企業数	設定根拠及び 募集方法⇒	過去のセミナー等の事業の実績から設定。 募集方法は、会議所ニュース及びDM等での案内、行政の窓口の広報ツール配架により周知を行う。また経営指導員の巡回により案内。		
		40 社			
	支援対象企業数	設定根拠及び 募集方法⇒	過去のセミナー等の事業の実績から設定。 募集方法は、会議所ニュース及びDM等での案内、行政の窓口の広報ツール配架により周知を行う。また経営指導員の巡回により案内。		
		40 社			
	支援対象企業 の変化	テレワークを体験することによって、導入への不安が解消され、導入に向けて浮かび上がった課題解決に取り組む。			
		指標	不安が解消され、導入に向けて何らかの取り組みを行った事業所	数値目標	70%
支援対象企業 の変化	withコロナ時代の労務管理をすすめていく上での課題が明確になることで、今後の改善がすすむ。				
	指標	withコロナ時代の働き方改革への対策の方向性が見えてきた	数値目標	70%	
その他目標値	目標値の内容⇒				
	社				

事業名		働き方改革からwithコロナ時代への労務管理の対策事業						新規/継続	新規		
算定基準により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	⇒	サービス単価		支援企業数		係数		標準事業費		
			20,200	円 ×	40	×	1.00	=	808,000	円	
			20,200	円 ×	40	×	1.00	=	808,000	円	
				円 ×		×		=		円	
	(小計)								1,616,000	円	
	※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)									円	
	計								1,616,000	円	
	独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)										
	算出額	①市町村等補助		円			交付市町村等				
		②受益者負担		円			負担金の積算				
○		(a)府施策連携		(b)広域連携	○	(c)市町村連携		(d)相談事業相乗効果			
標準事業費			補助率			(①市町村等+②受益者負担)					
1,616,000 円 ×			1.00 =			1,616,000 円		(円)			
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名		配分額		役割(配分の考え方)					
				円							
				円							
				円							
				円							
				円							

【備考】**コロナパッケージ⑤**

※別添で補足する内容があれば添付してください。